

なめがた大使 小林光恵さん 書きおろしエッセイ
五感でキャッチ！なめがた漫遊記 第25回

不思議な感動の訳

NHKのテレビの番組「新プロジェクトX挑戦者たち」は、前身の「プロジェクトX」の頃から、時々見ては感動してきた。

4月25日(土)の夜に見た「たかが芋」とは呼ばせない」にも感動したのだが、今回はいつもとは違う感覚を覚えた。胸がいっぱいになると同時に、流れはじめていた中島みゆきさんの歌が聞こえなくなったのだ。

いつもは、田口トモロヲさんのナレーションとともに番組が進み、登場人物とエピソードに感じ入っていると、そこに絶妙のタイミングでテーマ曲が流れ始め、その演出によって、感動が増幅される。つまり、この歌込みで感動を覚えるように脳が出来上がっている面があるのだが、それが聞こえなくなるという不思議な事態となった。

その直後に、仕事関係のSさんにメール返信をすることになっており、そのコメントに思わず次のように書き加えた。気心の知れた相手なので、思いつくま。

△番組の成り立ちに不可欠であるはずのテーマ曲が聞こえなくなるほど感動した、私の出身地の挑戦者たちの話なんです。なんと私、コメントーターとして登場した方の背後に、彼らの関係者と思われる多くの顔、そしてさつまいもではない、別の作物を生産している多くのみなさん、また、別の業種

のなめがたの方たちの顔がぎっしりと

昔はものすごい大勢の人たちが並んだ集合写真でありましたよね、子供会で団体旅行に行った全員とか、ひとりひとりが米粒みたいな。そんな感じで——並んでいる様子を幻視したんです。とにかく見てほしいです。

その5日後、SさんからNHK ONEでこの番組を見て感動的だったという感想メールが届き、ラストにこう記してあった。

△小林さんは、あまりメール文の文末にびっくりマークをつけない方ですが、今回のメールの、見てください、にはそれが3つもついていてご出身地についての、誇らしさ、が、伝わってきましたよ。

そうか。いつもと違った感動だったのは、誇らしさが生じていたからか……と納得した次第。
 シビックプライド、という言葉を感じました。

小林 光恵さん



焼き芋、大好きです。
 干し芋も。芋の天ぷらも。

行方市出身。つくば市二の宮在住。玄関前の小さなスペースに、花をつける低木を植えたいと考えており、パニラ色の花が咲くアジサイがいいか、ニオイバンマツリがいいか、ぼんやり悩み中です。

市公式ホームページ内で「行方帰省メシ」連載中。サイトはこちらから▶



地域おこし協力隊

連載コラム ②5

皆さんこんにちは！地域おこし協力隊の大橋です。

4月13日(月)、農業振興センターでジャガイモの種芋を植えてきました。まちづくり推進機構のメンバーや、市職員の方々と一緒に作業をしました。

畑には、既にマルチ(黒色のビニール)が張られ、等間隔に穴が開いている状態。そこに棒を差し込んでさらに穴を開け、種芋を入れて軽く土をかぶせていきます。春の陽気でそこまで暑くなかったのですが、汗が……

シンプルな作業に見えますが、実際にやってみると、穴を開けるのに思った以上に力が必要で、なかなかの重労働でした。

作業を進めるうちに「これは毎日やるのは大変だな」と実感。私が作業したのは本当に一部でしたが、普段何気なく食べている農作物も、手間暇をかけて育てられているのだと思うと、ありがたさを感じました。

案の定、次の日はしっかり筋肉痛に。短時間でも、体にくる作業でした。



▲大橋 桂子 隊員

【令和7年4月1日～現職】
 観光資源の再発見や開発、市の魅力の情報発信、特産品の販売や地域資源を生かしたまちづくりに取り組んでいます。

今回植えたジャガイモが、これからどんなふうに着いていくのか楽しみみです。収穫の時期を思い浮かべながら、少しでも土に触れた春の一日でした。(次号は、ダシカ隊員が担当します。)



▲種芋を穴に放り込んでいきます



▲この棒を押ししていくのが意外と大変でした



▲みんなで穴を開けて、セットと植えてきました